

# 教職員の「いのち・健康・暮らし」を守れ！ 実効性のある働き方改革の推進！（組合）



発行所 三豊教育会館内  
香教組三観支部  
編集人情宣部  
Tel 0875-25-3761  
http://www.niji.jp  
/home/kazuo-t  
/mitoyosibu1

「署名・カンパ」ご協力あり  
がとうございます。声を県へ  
届けます！ 加入者歓迎！

十二月七日、香教組三観支部（石川謹章支部長）は、県教育事務所（西原明所長）に、教職員の勤務条件改善と多忙化解消のための要求行動をしました。詳しくは次のとおりです。

### 《賃金保障について》

安心して教育活動に専念できるような給与を保障すること！

組合 人事委員会勧告により、月例給（月給与）、一時金（勤勉手当）ともに引き上げとなった。この間、教職員の仕事量は増え続けている。再任用も給料が減るのに仕事が多い。「同一労働同一賃金」の観点、「人材確保」の観点から、安心して働けるよう教職員の生活に見合った給与を保障して欲しい。

福井県の新任教員嶋田さんは、自

### 三観支部が西部教育事務所へ要求書提出

教職員の勤務条件を改善するために、下記のとおり要求します。  
記

- 1 教職員の生活に見合った賃金を保障すること。
- 2 裁判所も「給特法は、もはや教育現場の実情に適合していない」との判断を示しているように教員にも残業代を支払うよう国に働きかけること。
- 3 少人数学級を早期に実現すること。学校や子どもの実態に合わせ、県独自の加配をすすめること。
- 4 勤務評定をやめ、成績主義賃金を廃止すること。
- 5 全児童・生徒対象の「学習状況調査」（小5、中2）を今後実施しないこと。「全国学力テスト」（小6、中3）を実施しないよう文科省に申し入れること。
- 6 勤務時間を守れるよう適切な指導を講じること。また、代休やわりふりについては実質とれるように指導すること。
- 7 小学校の特別クラブ、中学校の部活の地域移行（目標時間：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途）を含め適正化を図ること。
- 8 教職員の信頼の厚い民主的な人を管理職として登用すること。そして、管理職の人権意識を高めるよう指導すること。
- 9 教育事務所訪問をやめること。少なくとも授業参観及び指導は、希望者のみにすること。
- 10 管理職が多忙化を解消し、教職員の健康管理に配慮するように指導すること。香小研、香中研は任意団体であり加入は個人の判断であることを周知すること。
- 11 1年単位の変形労働時間制を強制しないこと。
- 12 その他



要求書を受け取る越智所長補佐(右)と石川支部長



### の加配をすすめること！

組合 香川県は、小中学校における35人学級を県独自で実現させている点は、有難い。昨今の現状において、多種多様な支援が必要な児童生徒や多様な考えの保護者の増加に伴い、教育活動が困難になり、よりきめの細かい指導をするために少人数学級の継続・拡充が必要である。不登校やいじめの件数も増えている。更に、推進をお願いしたい。

### 《成績主義賃金廃止を》

勤務評定をやめ、成績主義賃金を廃止すること！

組合 働き方改革が叫ばれる中、どのような人が評価されているのか？評価基準が知りたい。評価基準が開示請求できないのは、全国で香川を入れて2県のみ。どうして開示請求できないのか？この成績主義賃金制は教育現場にはなじまない。

### 《学力テスト等廃止を》

組合 全国一斉学力テストや県学習状況調査については、児童生徒の学力の状況を調査する目的で実施されているが、状況を図るデータはすでに調査済みであり、毎年実施する必要がない。過去に全国学力テストで、1位を取った香川県であるが、その当時、不当な競争主義が横行し、児童生徒にカンニングまがいの不正をさせたり、点数の低い子を排除したりなどの問題が発生している。香川県ではこの過去の失敗を生かし自ら襟を正し、必要のない学力テスト等は廃止するべきである。過去問を繰り返させるなどし、返って勉強嫌いの子どもを作ってしまったのではないのか。点数偏重主義により、指導の行き過ぎなどの弊害が出ているのではないか。

が取り切れない現状がある。全体の仕事を減らすべきである。ある学校では、校外への少しの用事でも、1時間の年休を取らせられるケースがある。管理職は、もっと柔軟性をもって対応して欲しい。  
朝も先生方は、生徒が登校してくるからと言って、勤務時間より早く来る先生が多いが、実質の超過勤務につながっている。何とかならないか？  
16時〜17時の放課後特別クラブの代休が初めて、1日30分出た。せっかくの代休が実質取れるよう長期休暇の前後でも取れるようにするなど工夫して欲しい。校長によつて温度差がある。管理職を指導して欲しい。

### 《特別クラブ・部活動の適正化を》

組合 「部活動地域移行」であってもガイドラインに示されていることが守られているか指導するべき。休み（平日1日以上、土日1日以上休み）活動時間（平日2時間程度、土日3時間程度）長期休業中や年末年始など過度な活動となっていないか指導するべき。  
部活動顧問を希望しない人の意見を尊重し、強制しないようにして欲しい。

組合 数学の丸付けに大変な時間がかかる。各問いで解答が7行以上もあるものが何問もある。国語のテストみただの採点に、こんなに時間をかけることは、働き方改革に逆行している。

### 《勤務の適正化について》

勤務時間を守るよう適切な指導を講じること！また、代休やわりふりは実質とれるように指導すること！

組合 各学期中の超過勤務に対してわりふりを長期休業中にきちんと出す学校が増えている。しかし、そのわりふり

地域移行により、外部クラブチームなどの権限過多により、勝利至上主義になるなど、生徒の負担や健康被害がでるようなことがないよう学校、委員会、クラブチームなどのバランス調整を適正に行つて欲しい。



# 三豊市・年度初め4月7日 ・お盆閉庁5日・教員採用試験 「職免」扱い！と聞いている(組合)

教員の仕事で部活動にかかる労力は大きい。移行するには予算が必要だ。三豊市などでは、先駆けて予算の確保もできていると聞いている。しかし、予算の点では県は遅れているのではないかと、どのように対応して行くのだ。市町任せにならないよう、県がリーダーシップを取って欲しい。

過去に、部活と子育てが大変で、教諭を辞め講師としての勤務を選んだ先生がいた。教諭を辞めなくても続けられる雇用(待遇)形態であって欲しい。

組合 クラブ・部活動において、子どもの健康や成長を考慮した適正な運営となるよう指導して欲しい。働き方改革の一環で、部活の休養日や「ノー部活デー」などを設定する学校が増えている。更に、改革を進めて欲しい。

## 《民主的な管理職を》

組合 人権意識の高い、民主的な管理職の登用をお願いしたい。

組合 ある学校では、研究授業(研究指定)が当たったらしいが全教員に情報を下ろしてくれない(主任会止まり)。生徒プロジェクトの内容を教頭が、会で提案もせず、決定事項として教職員に強制してくる。情報を早めに下ろして欲しい。

ある学校では、職員会での管理職の話が長く、職員会が長くなり、その後の団会議も遅くなる。

## 《学校訪問について》

職場の多忙化を解消するために学校訪問をすべての学校で半日日程にするなど簡素化すること！

組合 授業参観や指導は希望者だけにすること。教科は指定しないこと。学校訪問の内容(日程)は、市町教委の指導の下、各学校

で定めることになっている。

組合 学校訪問において、説明資料の作成などに労力がかかり、教職員にとって負担が大きい。西部教育事務所から、過度の資料作成や気遣いはいらぬと言ってもらえたらありがたい。高松市では指導案提出がないそうだ。

組合 ある学校では、学校訪問時の授業参観後の指導について、50歳以上は希望制とした。これにより、余分な労力やストレスが軽減された。

## 《多忙化解消について》

組合 教職員調査票の提出期限が、この間早くなり、今年、12月11日が提出締め切りであった。以前は1月の4日頃であったがかなり早くなった。12月11日といえ

ば、まだ2学期中の一繁忙しい時期であるし、この早い時期に来年度の人生設計や構想を考えるにはまだ早すぎてじっくり考えられない。提出を早くするのなら、異動発表も早くして欲しい。提出締め切りが早くなった理由を教職員に説明して欲しい。

組合 最近、各学校において職員室等に日課表を明示(掲示)して、休憩時間を徹底していない学校が多い。改善が必要である。

組合 香小研・香中研は、任意団体である。しかし、ほぼ半強制であり、研究が大きな負担となっている。勤務時間を守る範囲の研究内容にして欲しい。教科の理事の先生方から「任意なのに...」とよく不満を聞く。

組合 「三豊市のICT・PC環境の条件が厳しすぎる。仕事がしにく

い。」との声があつたが、徐々に改善してきた点は有難い。しかし、c4thのメリットは調査書にも関連づくことだったようだが、調査書とは対応していない。多くの学校では個人の作成したアプリ(データ)を使用している。「おかしい。高松市は、「Tコンパス」を使用している。三観でも、改善して欲しい。

## 組合 コロナ禍において、「さび分け」をした」と前所長は言っていた。いらぬものは精選・削減して欲しい。

組合 三豊市の来年に向けての状況をお知らせする。①年度初めが4月6日であったが7日とする。②8月のお盆の閉庁日を3日から5日にする。③来年度、講師の教員採用試験受験を、年休から「職免」扱いにするらしいと聞いている。有難い。(観音寺は!!)

これら組合の要求に対して県教委西部教育事務所(越智所長補佐)は次の様に回答しました。

所長補佐 普段聞くことのできなかった様々な状況を聞かせてもらった。関係機関や所長に伝えた



[要求する香教組三観支部]

## 謹賀新年

本年もよろしくお願ひいたします。



香川県教職員組合  
三観支部長石川謹章

「管理職の人間性(人柄)」  
「職員調査票」の提出も終わり今年度もあとわずかと終わった。人事異動も近い。異動の場合、どの学校に行くかで勤務が大きく異なる。また、どんな管理職につきか「やりがい」も変わることもある。細かく注意し、上から目線で指摘ばかりする管理職がいる。小言を言わず仕事を任せてくれ、失敗しても助けてくれる管理職もいる。管理職も人間である。

やはり最後は「人間性」。



## 「パワハラ相談の窓口は？」

パワハラ相談の窓口は3つ。  
①市教委の窓口  
②学校訪問の時や面談の時  
③職場の窓口(パワハラ相談担当)  
がある。しかし、パワハラを受けても一教員が窓口相談したり、訴えたりするのはかなり勇気がいるものだ。教職員組合のほうにもパワハラ相談の窓口があり、時々相談が入ってきている。相談しやすい環境も大事である。

## 「留任、一任、お任せ(調査票)」

先日、教員同士の話し合いで、来年の人事異動希望の話題になった。「留任と書いた」3年経ったので「一任」：等、その話から分かった。中学校は、割と意見を具体的に書く。例えば「三観内の異動希望で、①〇〇中、②〇〇中」など、小学校は、「留任、一任、お任せします」などが多い。余り異動希望を書かないそう。小学校では、普通段から(管理職の管理統制のためか)個人の見解が言いにくいような雰囲気。学校が多量に聞いている。職場もそうあって欲しい。